

すもと 市議会だより

第18号

平成23年1月15日

編集発行 洲本市議会

TEL 0799-22-3321(代)

FAX 0799-22-3092

//12月定例会市議会//



洲本市議会報告会（五色中央公民館）

補正予算、条例改正など18議案を原案可決・同意

洲本市国土利用計画に関しては、特別委員会を設置、閉会中の継続審査に

TPPへの対応に関する意見書、尖閣諸島等に関する決議を可決

主な内容

《一般会計補正予算	2億1,020万円》	・個人情報保護条例の一部改正
・財政調整基金積立金	9,672万円	・下水道条例等の一部改正
・「すもとマラソン」開催準備経費助成	100万円	・小中学校の設置条例等の一部改正 ほか1件
・過疎地域自立振興基金積立金	2,950万円	《その他議案》
《特別会計補正予算》		・公の施設に係る指定管理者の指定
・国民健康保険特別会計補正予算	2,798万円	・洲本市過疎地域自立促進計画
・土地取得造成特別会計補正予算	409万円	《追加議案》
・下水道事業特別会計補正予算	3,282万円	・一般会計補正予算 ほか1件
・CATV事業特別会計補正予算	△78万円	・洲本市教育委員会委員任命
・介護保険特別会計補正予算	632万円	
・後期高齢者医療特別会計補正予算	1,146万円	
《条例の制定及び一部改正》		
・過疎地域自立振興基金条例の制定		
・情報公開条例の一部改正		

島内初の議会報告会を開催

10月29日に五色中央公民館で、11月6日に洲本市総合福祉会館（2回）で、議会報告会を開催し、延べ188名のみなさんが出席されました。

12月定例市議会は、12月9日から12月17日までの9日間開催し、補正予算、条例の一部改正など計16件が第1日（9日）に提案されました。

第3日（17日）には、補正予算2件が追加提案され、慎重審議の結果、17件については、原案のとおり、可決いたしました。なお、1件については、特別委員会を設置し、閉会中に継続審査を行うことに決しました。また、人事案件が1件追加提案され、同意することに決しました。

今回は8名の議員が一般質問に立ち、理事者に対して行政のあり方や施策の考え方などをたどしました。紙面の都合から、その一部を要旨で掲載いたします。

一般質問 要旨

観光振興

ブランド化の推進

Q 地域資源、観光資源のほかに推奨指定や販売を支援し、統一的なブランドネーミングが必要でないかと思いますが、キャラクター等の発掘についても伺いたい。

A 観光面でのブランド化は、淡路島ヌードル、淡路島牛丼のブランド化が進められており、基本的には淡路島を単位として取り組みが進められていくと思っています。

いわゆる「ゆるキャラ」に相当するものとしては、洲本商工会議所の「八狸」をモチーフにしたもの、五色商工会のラップパイチョウをモチーフにした「ラップちゃん」と蛭をモチーフにした「ホッピー」とハッピーがあり、このような取り組みについても、いろいろな形で支援をさせていただけたらと思っています。



洲本八狸

農林業振興

生産基盤の整備

Q 過疎地域の自立促進を図るため、ほ場整備を着実に

に進め、担い手の農地利用を集積し、生産性の高い効率的な農業経営を実現していく必要があると考えます。また、ため池は、堤、余水吐が古く、底樋が土管等であり、早急な対策が必要であると認識していますが、今後の方針について伺いたい。

A ほ場整備につきましては、特に地元の協力並びにまとまりが非常に重要だと考えています。市といたしましても、地元がまとまり次第、順次、県のほうに要望をしていきたいと考えています。

ため池の機能は、かんがい用水はもちろん、防災上においても、非常に重要な施設と認識しています。平成22年度におきましては4箇所において工事を実施しています。9箇所については要望のあった調査をしています。今後もため池の整備に努めてまいりたいと思います。

地域ブランド化の推進

Q 洲本市におけるブランド推進会議の戦略、洲本市としてのオリジナルブランドについての考え方に伺いたい。

A 特産品のブランド化につきましては、それぞれの生産者の方々が、工夫や苦勞を重ねて生産したものをどう売りたいかということが基本になるべきであろうと考えており、洲本市としては、大きく二つの取り組みを進めていくことを考えています。

一つ目は、淡路島全体で広く緩やかな結束によるブランド戦略を講じていくという事です。今年8月に発足した食のブランド「淡路島」推進協議会において、積極的に取り組みが今後も進められていくことになっています。また、先日「淡路島たまねぎ」の地域団体商標が認められたということもあります。

洲本市としては、これらの枠組みの中で、洲本市の1次産品のPRを積極的に行うとともに、内外にも広く紹介をしていく取り組みを進めたいと考えています。二つ目は、より狭い範囲

で市民主導による個々のブランド力強化、つまり、現在、さまざまな工夫によって独自のブランドデザインを行って販売している方の取り組みを応援していきたいと考えています。



食のブランド「淡路島」

TPP問題

Q 菅首相が、臨時国会の所信表明で、環太平洋連携協定いわゆるTPPに参加を表明しました。これに加盟することは、農水産物やサービス、労働市場も含めて例外なき関税の撤廃により農水産業や雇用、地域経済に打撃を与えると同時に、日本農業が壊滅的な状態に突入するのではないかと考えます。市長としてTPP断固反対、洲本の農業を守るのだという力強いメッセージを内外に発していただきたいと思うのですが、いかがですか。

A まさに今、議論がスタートしたという段階です。で、具体的な結論は出ていません。そもそも何の対策もなしに、やられるということは論外であると思っています。今の段階では、国

の施策を最終見ていきまして、重大な関心を持って行動させていただきたいと思っています。

水産業振興

ウバメガシの漁礁

Q 南あわじ市では、官民一体となつて、南あわじアオリイカ資源増大協議会を設置し、資源拡大計画を実施したところ、アオリイカが増えたとのことですが、産卵場は、ウバメガシの特性を活かした漁礁のようです。淡路島をアオリイカの一大産地としたいと意気込んでいると聞いています。ウバメガシの漁礁については、淡路全体の取り組みをめざしているようですから、洲本市もこの一翼を担うのはどうでしょうか。伺いたい。

A 現在、市内の5漁業協同組合で、平成20年からウバメガシを使ったアオリイカの産卵所づくりを行っています。

また、淡路全島の漁協組織である淡路水交会におきましても、平成19年度からこの事業を本格実施しています。今後とも継続的に実施したいと考えています。

国土利用計画

鳥飼川

Q 国土利用計画の中では、防災機能の向上を図ることも記載されていますが、鳥飼川の鳥飼八幡宮の上流約2キロに土砂が堆積して、草木が既に3メートルから5メートル以上になっており、とても地域の住民の力では及ばぬ状況です。この対策についてお伺いしたい。

A 地元町内会より除草及び土砂撤去の要望をいただいております。その状況について淡路県民局洲本土木事務所河川砂防課へ本市より対応について依頼をした結果、今後の予定としては、本年度中に河川内の立木、また川の中に生えている葦等については、すべて伐採するとの聞いています。土砂については、現況調査を行い確認していききたいと県から聞いています。



鳥飼川

道路整備

道路整備

Q 今回の過疎地域自立促進計画の中で、新路線、前計画に上がりながら実施できなかった道路整備の取り組みについてお伺いしたい。

A 市道整備としては、14路線の整備を計画しています。その内訳としては、平成21年度までの計画で実施できなかった8路線、新たに整備すべき路線として6路線を計画しています。

行政運営

洲本市過疎地域 自立振興基金条例

Q この基金条例は、借りたお金は返さずに預けて、お金を上手に運用するという条例であると理解しているのか、お伺いしたい。

A なぜ、過疎債を財源として基金に積み立てていくのかということですが、過疎債が非常に有利な起債であるということ。元利償還金を返すときに交付税措置率が70パーセントあり、洲本市は3割を返したらいいということになります。

一般的に地方債は建設事業にしか充当できませんが、今回の過疎債は、ソフト事業にも充当できることになり、今年度に全部使い切つてしまわなくて、基金という形で貯金をしておいて、翌年度とか再来年度とかに使ってもいいというふうに制度化されました。

学校教育



由良小学校

指定に伴う建ぺい率、容積率、日影等の規制もあり、校舎建設は難しいと思っています。

学校給食

Q 洲浜中学校、青雲中学校は、給食は、実施されていません。公平の観点から早急に未実施をなくさなければならぬと思いますが、市の考えをお伺いしたい。

A 総合的な観点から共同調理方式での施設整備を進めていきたいと考えています。

由良小学校改築

Q 教育委員会は由良小学校の改築に関して、どのような構想を持って地元の関係者に協議をお願いしたのか、お伺いしたい。

由良中学校のすぐそばに、由良南保育所の跡地がありますが、どのように考えているか、お伺いしたい。

A 地域主権戦略大綱に、基礎自治体への権限委譲を促し、計画的に人材育成を進め、効果的に組織活用を図っていかねばならないと考えますが、行政内部の対応についてお伺いしたい。

A 地域主権戦略大綱に、基礎自治体への権限委譲を促し、計画的に人材育成を進め、効果的に組織活用を図っていかねばならないと考えますが、行政内部の対応についてお伺いしたい。

A 市民が共有すべき理念や価値観を示したものとして存在意義を認めるということです。推進実践活動については、現在のところ具体的な考えは持っています。

学校については、昨年度、全小中学校に市民憲章を配布し、児童、生徒のよく目にする場所に掲示させていただきました。洲本市憲章の五つの柱の内容であります環境教育であるとか、

これらについては、本市としては、短期間で対応することとは、非常に困難な部分があり、当面は国、県への支援をお願いしなければならぬと考えていますが、体制づくりは進めたいと考えています。

Q いじめ等について、マニュアルを持っているのか、お伺いしたい。

A いじめ等の学校が抱える重要課題は、文部科学省や兵庫県教育委員会によるマニュアルを基本として、洲本市マニュアルとしています。

いじめ、不登校

場所については、今年度中に確定させたいと考えています。供用開始は、平成25年度中を目指したいと思っています。

供用開始までのつなぎとして、五色給食センターの活用が可能かどうか、十分検討してみたいと思います。

「常任委員会行政視察状況」

総務常任委員会

(10/27)

子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン
Q 子宮頸がん、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌の3種のワクチン接種の現状と今後の取り組みについて、お伺いしたい。

A 小児における細菌性の髄膜炎予防のヒブワクチンについては、本年度より接種料のおおむね2分の1である4千円を上限として助成をしています。また、平成23年1月からは、疾病の重篤性を考えて、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用の助成については、ワクチン接種緊急促進事業実施要綱に基づいて公費助成する予定です。

子宮頸がんワクチンについては、3回接種で、中学1年生（13歳相当）から高校1年生（16歳相当）を対象とする予定です。
 ヒブワクチンと小児用の肺炎球菌ワクチンについては、接種年齢により、回数は異なっていますが、0歳から4歳の乳幼児を対象とする予定です。

唐津市を視察。観光振興及び行財政改革を調査。観光客の動向や意識を調査・分析し、アジアから九州に人を呼び込む戦略を立てて実施。

教育民生常任委員会

(11/10)

北名古屋市を視察。回想法事業（思い出ふれあい事業）を調査。地域の高齢者を対象に、出前講座として回想法スクールを開講。

産業建設常任委員会

(11/18、19)

かすみがうら市を視察。かすみがうら市ブランド化推進会議及び湖山の宝を調査。白河市を視察。白河市農産物ブランドを調査。

請願

「淡路島内の特別支援学校の在り方についての意見書提出を求める請願書」、

「最低保障年金制度の制定に関する意見書の採択を求める請願書」、「70〜74歳の医療費窓口負担引き上げ方針の撤回を求める意見書の採択についての請願書」、「後期高齢者医療制度廃止

に関する意見書の提出を求める請願書」及び「高齢者の生活実態に見合う年金引き上げに関する意見書の採択を求める請願書」の5件を、いずれも賛成少数で不採択と決しました。

意見書

「環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への対応に関する意見書」を、全会一致で可決し、内閣総理大臣等、関係機関に送付しました。

決議

「尖閣諸島、北方領土が我が国固有の領土であることに関する決議」を、全会一致で可決しました。

人事議案

教育委員会委員の任命に同意
 ・河上 和慶 氏
 ・島田 栄子 氏

洲本市国土利用計画審査特別委員会を設置

洲本市国土利用計画に関する議案については、6名の委員で構成する審査特別委員会を設置、付託し、閉会中に審査をいたします。

委員会審査状況

総務常任委員会

一般会計補正予算では、歳入で、国庫支出金、県支出金の追加等を。歳出で、人件費の精査のほか、財政調整基金の積立、「すもとマラソン」開催準備経費助成等を。その他、土地取得造成等の特別会計補正予算、過疎地域自立振興基金条例の制定、過疎地域自立促進計画等、計8議案について、15日に委員会を開催。

産業建設常任委員会

審査の結果、情報公開条例の一部改正等、計2件は賛成多数で可決、その他の6件は全会一致で原案可決。また、17日に追加上程された一般会計補正予算等、計2議案について、同日、委員会を開催。

審査の結果、全会一致で原案可決。

産業建設常任委員会

一般会計補正予算では、人件費の精査のほか、中山間地域活性化推進事業の追加等を。その他、下水道事業特別会計補正予算、公の施設に係る指定管理者の指定等、計4議案について、13日に委員会を開催。

審査の結果、いずれも全会一致で原案可決。

教育民生常任委員会

一般会計補正予算では、人件費の精査のほか、保育所運営費の追加等を。その他、国民健康保険、介護保険等の特別会計補正予算、小中学校設置条例並びに学校給食共同調理場の設置管理条例の一部改正等、計5

議案について、14日に委員会を開催。

審査の結果、いずれも全会一致で原案可決。

また、17日に追加上程された一般会計補正予算の1議案について、同日、委員会を開催。

また、17日に追加上程された一般会計補正予算の1議案について、同日、委員会を開催。

また、17日に追加上程された一般会計補正予算の1議案について、同日、委員会を開催。

また、17日に追加上程された一般会計補正予算の1議案について、同日、委員会を開催。

審査の結果、全会一致で原案可決。

12月定例会の日程

9日（開会） 本会議

・議案16件を上程、説明
 ・質疑、一般質問5議員
 10日 本会議

・質疑、一般質問3議員
 ・洲本市国土利用計画に関する議案は、審査特別委員会を設置、付託、閉会中の継続審査に、他の15件は、各常任委員会に付託
 ・請願5件を上程、教育民生常任委員会に付託
 13日 委員会審査
 17日 本会議

・議案15件についての各常任委員会審査報告、質疑、討論、採決
 ・議案2件を上程、説明、質疑、各常任委員会に付託
 ・委員会審査
 ・議案2件についての各常任委員会審査報告、質疑、討論、採決
 ・人事議案1件上程、採決
 ・請願5件についての常任委員会審査報告、質疑、討論、採決
 ・意見書案1件上程、採決
 ・決議案1件上程、採決
 ・議員派遣を上程、採決
 ・閉会中の所管事務調査事項を決定

（閉会）